

大会名称： 令和3年度 第51回関東中学校バスケットボール大会

開催場所： ひたちなか市総合運動公園体育館

Bコート

試合区分： 男子

2回戦

期 日： 2021(R3)年8月10日(火)

クルーチーフ

手塚 清孝

(山梨)

開始時間： 12:20

1st 7PM 47

塚越 洋平

(群馬)

終了時間： 13:45

2nd 7PM 47

倉持 雄一

(栃木)

埼玉栄						牛久南									
(埼玉県)						(茨城県)									
○						●									
75						50									
17 -1st- 12															
12 -2nd- 8															
21 -3rd- 12															
25 -4th- 18															
-OT1-															
-OT2-															
-OT3-															
NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	山田 仁弘	19	0	9	1	1	4	*	畑 壮一郎	6	2	0	0	2
5	*	織田 恭輔	11	0	5	1	1	5	*	岩瀬 百々多	18	4	2	2	0
6		加藤 亮祐	10	0	5	0	2	6	*	山村 颯奈	11	0	5	1	4
7		萩原 透輝	-	-	-	-	-	7	*	渡辺 結人	6	0	3	0	1
8	*	島村 充輝	12	0	4	4	1	8		柴山 流楓	7	1	2	0	1
9	*	伊藤 啓人	9	0	4	1	0	9	*	藪口 蓮汰	2	0	1	0	3
10		塚田 歩	-	-	-	-	-	10		中山 詩	0	0	0	0	1
11	*	上村 柁史	6	0	3	0	1	11		池田 卓哉	-	-	-	-	-
12		中川 凜之介	-	-	-	-	-	12		小野 魁志	0	0	0	0	2
13		長泉 悠汰郎	-	-	-	-	-	13		小泉 爽士	-	-	-	-	-
14		飛田 琉可	-	-	-	-	-	14		大河内 玲	-	-	-	-	-
15		株本 充希	-	-	-	-	-	15		下村 源生	-	-	-	-	-
16		ジョーンズ 堅太	8	0	4	0	1	16		本田 琉葵	-	-	-	-	-
17		川上 大輝	-	-	-	-	-	17		宮田 純希	-	-	-	-	-
18		菅沼 優貴	-	-	-	-	-	18		本橋 光希	-	-	-	-	-
コーチ 伊藤 裕一								コーチ 稲葉 亮仁							
A・コーチ 駒場 光重								A・コーチ 横島 星矢							
合計			75	0	34	7	7	合計			50	7	13	3	14

S:スターター PTS:ポイント 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー F:ファール

両チームともにハーフのマンツーマンDefスタート。開始早々、埼玉栄中#5織田のジャンプシュートで先制するも、牛久南中#5岩瀬が3Pで応戦する。両チームターンオーバーが少なく、シュートで攻撃を終える中、集中したチームディフェンスを見せる。その中でも、埼玉栄中#5織田のドライブインから#11上村へのアシストパスが決まり加点していく。牛久南中はドライブからの攻撃を組み立て、#7渡辺がドライブインからレイアップを決めたり、#5岩瀬のスリーポイントで加点、両チームの良さが見られる中、第1ピリオドを17対12で埼玉栄中5点リードで終える。第2Q両チームともハーフのマンツーマンDefでスタート。埼玉栄中は牛久南中のドライブに対して集中して守ろうとするなか、牛久南中#4畑が3Pで得点をし、一時同点に追いつく。埼玉栄中は#4山田の高さを生かしてインサイドにボールを集め、#16ジョーンズへパスしドライブインからアシストし、#9上村が得点するなど内外のバランスよい攻撃を見せる。牛久南中はドリブルハンドオフからDefをずらし、ドライブから突破口を見出すも、埼玉栄中#4山田のヘルプディフェンスの前にシュートを決めきることが難しく、得点が入らない時間が続く。そして埼玉栄中は#4山田がリバウンドを支配し優位に試合を進める。埼玉栄中#4山田のディフェンスリバウンドから#16ジョーンズへの速攻、スティールから#6加藤の速攻と連続得点、牛久南中はタイムアウトを取る。タイムアウト後、流れを取り戻そうと#5岩瀬が3Pで得点を取るも、差を縮めきれず前半29-20で、埼玉栄中9点リードで前半終了。第3Q牛久南中は得意のドライブインから粘り強く得点を得点を狙う。オフェンスリバウンドをチームでつなぎ#6山村が加点し、6点差に縮める。対する埼玉栄中は#6加藤がオフェンスリバウンドからバスケットカウントで得点。牛久南中#5岩瀬がドライブイン後ピポットでディフェンスをずらして得点、#7渡辺がリバウンドのルーズボールをつないでくらくらいつく。メディカルタイムアウト後、牛久南中はフルコートのディフェンスに変え、ディフェンスの圧力を強める。タイムアウト後#5が3Pを決めるが、プレッシャーディフェンスによりチームファウルが重なり埼玉栄中にフリースローを与え、差をなかなか縮められない中第3Qを埼玉栄中50-牛久南中32で終了。第4Q牛久南中はオールコートマンツーマンDefでボールにプレッシャーをかけようとするも埼玉栄中は落ち着いてボールを運び、#8島村、#5織田のドライブインから突き放す。牛久南中は#4畑、#8柴山の3Pで食らい付いていく。牛久南中はオールコートDefを継続し、全員で守り、#9藪口がスティールからバスケットカウントを取るも差を縮められず、75-50で埼玉栄中が勝利した。牛久南中は身長が上回る相手に対しても連続してジャンプし詰めることなくリバウンドに挑戦していた。両チーム時間の経過とともに持ち味を存分に発揮した攻撃を見せてくれる好ゲームであった。